

フロン類回収業者の皆さまへ

ポンベの『可溶栓』を再確認ください!!

フロンポンベは、50～60℃程度に達すると『可溶栓』が溶け、フロン類の漏れや、可溶栓飛び出しによる事故の原因となるため注意が必要です。

特に6月から9月の夏季はポンベの使用・保管環境も高温となり、可溶栓が溶けることによるフロン漏れが増える時期のため、改めてご確認いただき適正なポンベの管理をよろしくお願い致します。

「可溶栓」に異常がないかをチェックしてください

- ・可溶栓に異常（膨らみや溶け）がありませんか？

異常なし

可溶栓に膨らみや溶けがあった

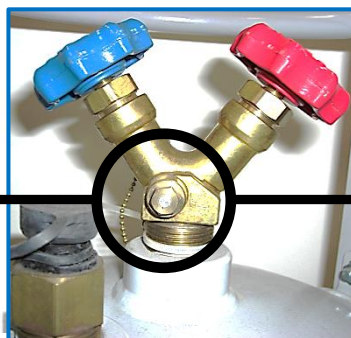
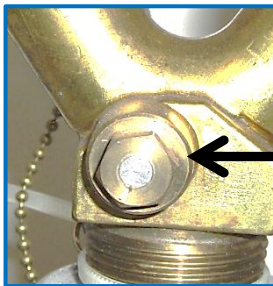
引き続き適正な保管をお願いします

- ・直射日光の当たらない涼しい場所で作業/保管してください
- ・ポンベを40度以下に保ってください
- ・水を含ませたタオルをフロンポンベにかける等の対策を実施してください

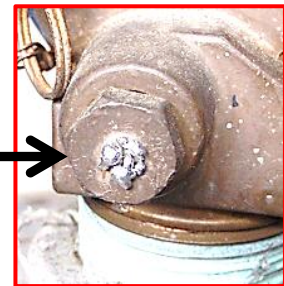
ポンベを空にした状態で修理してください

- ・早急にポンベを破壊施設に引き渡してください（満タンでなくても構いません）
- ・空ポンベを受け取った後、速やかに修理に出してください（ポンベ購入店、検査場など）

〔適正な状態〕



〔可溶栓が膨らんでいる状態〕



※何台も連続して回収するとポンベが高温になることがあります。温度管理にご注意の上、回収作業を行ってください。

※当機構ホームページ(<http://www.jarp.org/>)にも掲載していますので、ご確認ください。

※その他ご不明点あれば自再協までお問合せください。

★PR★

適正処理実施のため、各地域で開催される自動車リサイクル士制度認定講習会の受講を推奨します。詳細は日本ELV機構HP (<http://www.elv.or.jp/14-0-0.html>) をご確認ください。

自動車再資源化協力機構（業務部）

TEL: 03-5405-6155 / E-mail: info@jarp.org